

様式 C-19 [作成上の注意]

科研費は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民に説明することが求められています。

研究成果報告書は、当該研究期間内に実施した研究の成果等を記載するもので、その内容は国立情報学研究所の科研費データベース (<http://kaken.nii.ac.jp/>) において広く公開することになります。

研究成果報告書はこのような趣旨で作成するものですので、公開を念頭に、成果の発信のために適切な範囲・内容の記載をしてください。また、この様式の作成に当たっては、次の記入要領にしたがって作成してください。

なお、特許の出願中等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある箇所がある場合であっても、所定の期日までに公表可能な範囲で作成・提出してください。当該箇所については、後日公表可能となった際に追記して再提出するものとします。

また、この報告書を提出できない場合は、研究経過報告書(様式C-21)を提出してください。

【注意点】

- ①用紙は所定の様式を使用すること(様式の改変は認めません。)
- ②使用する文字は10ポイントとし、色文字を使用しないこと。
- ③下記「1. 機関番号」～「6. 研究代表者」の各欄はゴシック体、「7. 研究成果の概要」～「15. 研究組織」の各欄は明朝体で記入すること。
- ④下記「12. 研究の方法」及び「13. 研究の成果」の各欄においては、適宜図表等(カラー可)を用いても構わない。
- ⑤様式に既に記載している項目名等を修正しないこと。ただし、下記「13. 主な発表論文等」の欄において、記載する事柄がない場合(〔図書〕や〔産業財産権〕などで記載するものがない場合)は、適宜その項目を削除すること。
- ⑥全体を4頁～6頁で作成すること。
- ⑦提出の際は PDF形式に変換し、ファイル名を半角で「課題番号(8桁)+seika.pdf」(例: 2388888seika.pdf)にした上で、研究機関で取りまとめて電子媒体(CD-Rなど)で提出すること。なお、文書のセキュリティは設定しないこと。
- ⑧「研究成果の概要」など英語で記入することとなっている事項以外は、英語での記入は避けること。

【各項目の記入要領】

1. 機関番号

研究代表者の所属する研究機関の番号(5桁)を記入すること。

2. 研究種目

「特別推進研究」、「特定領域研究」等の研究種目名を記入すること。

3. 研究期間

補助金が交付された期間(年度)を西暦で記入すること。

4. 課題番号

科学研究費助成事業(科学研究費補助金)の交付決定通知書に記載された課題番号(8桁)を記入すること。

5. 研究課題名

交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。併せて英訳した研究課題名も記入すること。

6. 研究代表者

(1) 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者を記入すること。

(2) 氏名及び所属研究機関名・部局名・職名

研究代表者名は、姓と名の間に空白を入れること。

所属研究機関名・部局名（略称可）及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属研究機関名・部局名・職名を記入すること。

(3) 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。

7. 研究成果の概要

研究成果を社会・国民にわかりやすく説明することに主眼を置き、研究期間内に実施した研究及びその成果の概要について、200字程度で簡潔に記述すること。したがって、難解な専門用語の使用はできるだけ避けること。もしくは適宜説明を加えること。また、併せて英訳も記入すること。

なお、本欄には、図表等は用いないこと。

8. 交付決定額

交付決定額をそれぞれ記入すること。間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

9. 研究分野、科研費の分科・細目、キーワード

研究代表者の専門分野、科研費の分科・細目について記入すること。

また、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを1項目以上8項目以内で記入すること。なお、化学式等の使用は極力避けること。

10. 研究開始当初の背景

本研究課題の申請時における背景・動機について、簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

11. 研究の目的

本研究課題の申請時における当初の研究目的について、簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

12. 研究の方法

本研究課題の研究方法について、その具体的内容を簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

13. 研究成果

本研究課題の成果について、研究の主な成果、得られた成果の国内外における位置づけとインパクト、今後の展望などの点から記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

14. 主な発表論文等

本研究課題により得られた研究成果（①雑誌論文、②学会発表、③図書、④産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）など）のうち主要なものについて記入すること。

記入に際しては、現在から順に発表年次をさかのぼり、項目ごとに通し番号を付して記入し、研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線を引くこと。また、項目ごとに主要なもの以外の件数を含めた総件数を記入すること。

なお、投稿中の論文等の記入をする場合は、掲載が決定しているものに限る。

論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること。

(1) 雑誌論文

著者名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及びページを記入すること。（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。）電子ジャーナルに掲載された雑誌論文のうち、DOI（デジタルオブジェクト識別子）コードが付与されている場合は、当該識別子コードを記載すること。DOIコードが付与されていない場合は、論文にアクセスするためのURLを記載すること。

(2) 学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所（海外の場合は国名も記入すること。）を記入すること。

(3) 図書

著者名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

(4) 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）

産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願（取得）年月日、国内・国外の別を記入すること。また、発明者と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同上」と記入すること。

(5) その他

その他、報道関連情報、アウトリーチ活動情報、ホームページ情報（研究成果データベース、ソフトウェア、試作システム等のURL）、などを適宜記入すること。

15. 研究組織

(1) 研究期間全体を通じて参画した全ての研究代表者、研究分担者及び連携研究者を記入すること。必要に応じて研究協力者を記入しても差し支えない。

(2) 氏名及び所属研究機関・部局・職名

氏名は、姓と名の間には空白を入れること。（括弧書きでローマ字表記をすること。）

所属研究機関・部局名（略称可）及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属研究機関・部局名・職名を記入すること。

(3) 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。